



No. 143
令和6年7月24日発行



いけだ 議会だより

カワラサイコの花 大切にしたい池田町の宝の一つです。



高瀬川ではカワラサイコが見ごろです。
秋には葉の紅葉も見られます。(説明・裏表紙)

地酒、地ワイン普及“乾杯条例” 案	2P
議会活動報告 議員はどんなことしているの?	3P
本会議討論	4P
一般質問 9名の議員が町政を問う	5P
どんな人?新町長、副町長にインタビュー	15P
裏表紙	16P



乾杯条例(通称)で 池田産日本酒・ワインの普及を!

これまでの経過

町の特産品普及のため地酒、地ワインによる乾杯の習慣を広めようと、令和元年振興文教委員会（大出美晴委員長）で検証が始まりました。町内事業者や商工会の皆さんにご協力をいただき検討会を重ねてきましたが、条例案がまとまりつつある中でコロナ禍になり、一時中断してしまいました。

今回新たに地元ソフトドリンク(ぶどう、りんご、ハuckleベリー等)も加え、条例制定に向け現振興文教委員が行政意見を取り入れながら検証してきました。今回も商工会や事業者の皆さんに大変お世話になりました。条例の趣旨をご理解いただき、今後町民の皆さんのご意見を伺って参ります。

信州あづみ野池田地酒・地ワイン・ソフトドリンクで乾杯条例(案)

(目的)

第1条 この条例は、北アルプスの恵みによる水と大地で、先人の労苦により育まれた地酒・地ワイン・ソフトドリンクが長野県池田町(以下、当町という。)の特産品であることに鑑み、地酒・地ワイン・ソフトドリンクでの乾杯の習慣を広めることによりその普及促進及び地域の活性化を図ることを目的とする。

(地酒・地ワイン・ソフトドリンクの定義)

第2条 地酒・地ワイン・ソフトドリンクは当町の醸造メーカーなどにより生産された酒類・ワイン・ソフトドリンクを言う。

2 地酒は、長野県産の米・果実などを原料として醸造された酒類を言う。

3 地ワインには、当町で生産されたブドウなどを85%以上使い、他地域で醸造されたワインも含める。

4 ソフトドリンクは当町で生産された果実・野菜などを原料として生産されたアルコールを含まない飲料を言う。

(町の役割)

第3条 町は、地酒・地ワイン・ソフトドリンクによる乾杯とその普及促進及び地域の活性化に事業者・議会と連携し、積極的に取り組むよう努めるものとする。

(事業者の役割)

第4条 地酒・地ワイン・ソフトドリンクの生産、飲食及び販売に関する事業を行う者(以下、事業者という。)は、地酒・地ワイン・ソフトドリンクの乾杯とその普及促進のために主体的に取り組むとともに、町と相互に協力するよう努めるものとする。

(議会の役割)

第5条 議会は、地酒・地ワイン・ソフトドリンクの乾杯とその普及促進及び地域の活性化に町、事業者、町民と連携し、積極的に取り組むよう努めるものとする。

(町民の協力)

第6条 町民は、町、事業者及び議会が行う地酒・地ワイン・ソフトドリンクによる乾杯とその促進の取組に協力するよう努めるものとする。

(遵守・努力すべき事項)

第7条 町、事業者、議会及び町民は、この条例の運用するに当たっては、個人の嗜好・体質及び意思の尊重、交通ルール及び飲酒マナーを遵守しなければならない。

附 則

この条例は、令和6年●月●日から施行する。

今後の展開

パブリックコメント等でご意見をいただき、また町民説明会も予定しています。行政による条例文チェックを経て、9月議会定例会に上程できるよう進めています。今秋以降、いろいろな場面で活用し町産業を盛り上げていきたいと思っております。

シリーズ 議員はどんなことをしているの？

関心の持たれる議会を目指して始まったシリーズ。今まで水源地・上下水道施設視察、広津・陸郷文化財視察と意見交換、池田松川連絡会、喬木村・高森町保育園等視察研修、能登義援金活動、地区懇談会（自治会との意見交換）、総務福祉・振興文教両委員会活動、各種議員研修会等を紹介してきました。

【議会報告会】5月18日17時～ かえでホール



3月定例会（2月実施）の概要説明、主な議案審議結果等の報告会を開きました。

参加議員10名。町民の皆さん約20名。

主な質疑、意見等抜粋項目

- 農業振興策、担い手農業法人の進め方に疑問
- 交通手段等もっと充実を
- オーガニックの推進に疑問が
- 子どもたちの居場所充実を。地方議員のなり手不足問題
- 議会のオンライン化
- 長い歴史のある池田町、先住者と新しい方たちの融合
- 図書館司書の方たちの優遇を

議員協議会美術館のあり方

静岡ビル保全理事者、担当者と意見交換 5月14日

令和5年度入場者等実績と令和6年度目標、企画展内容

- 創造館自主事業 スタインウェイピアノ公募コンサート
- 美術館館長選任と総勢6名のスタッフの人員配置体制
- 創造館スタッフの充実
- 夏の企画展「超老芸術展in池田町」の準備について など



7月 池田松川連絡協議会

松川村須澤村長、矢口町長を招いて池田町議会、松川村議会共同企画意見交換会、八幡神社例大祭・北安曇郡歌DVD紹介、一丁目舞台説明（小林三郎さん）など池田町文化財の視察を計画。

8月 池田生坂連絡協議会

国会議員、県議会議員出席の総会、意見交換会。今回は両道の駅活性のための交流企画を提案。お互いの産直品交換販売等を議題に。

7月27日開催の「池田あっぱれ」に議会ブース

「議会茶屋よってきましょ」

防災・減災の意識を高める目的で、防災備蓄食料品を無料配布します。

（町提供品 約200食）

全議員がお待ちしています。



三枝三七子議員から

6月20日の本会議において議案第26号の討論で、令和6年度当初予算に計上されたバスケットゴール購入費について、「なぜ令和6年2月（予算成立時）に購入手続きをとらなかったのか」と発言を致しました。

令和6年度予算のため4月以降でない購入手続きがとれないため、適切ではありませんでした。お詫びを申し上げます。

本会議討論

●議案第 26 号 令和 6 年度一般会計補正予算（第 1 号）

賛成です 薄井孝彦 議員

次の2点を添え賛成する。

- ①地球温暖化対策事業の地域施策編の策定に当たっては庁内で十分に検討し、町民の声も聞き、対策の方向性を十分に練ってから業者委託を進めて欲しい。
- ②「岡麓終焉の家」の修繕工事は見学できるよう電灯設置と案内看板を設け、岡麓の功績を知らせる取り組み(ビデオ作成)も行っていただきたい。

他1名が賛成討論を行った。

●議案第 27 号 令和 6 年度国民健康保険特別会計補正予算（第 1 号）

反対です 三枝三七子 議員

令和6年度12月2日以降にマイナ保険証を持たない人に発行される資格確認書の郵送、事務手続き等に発生する予算として、169万5千円が歳出だ。その内訳145万4千円が国庫からの歳入。不足分として24万1千円が町負担だが、これを認めるわけにはいかない。資格確認書は地方自治体からの要望ではなく、国の都合で任意であったはずのマイナンバーカード交付よりドミノ倒しのように義務化を余儀なくされ始めている流れの一環であり、マイナ保険証のトラブルが正しく解決されたという報告は聞いていない状態だ。マイナ保険証からのトラブルは、地方自治体の事務作業に大きな負担をかけ、個人情報も予期しない形で流出するなどの事件が多発している。この歳出予算に賛成することは、町村自治体議員として同意することはできない。よって、反対とする。

他2名が反対討論を行った。

●陳情第6号・請願第7号 「地方自治法の一部を改正する法律案」の廃案を求める請願書

賛成です 服部久子 議員

地方自治体は、国と対等であると憲法で認められている。国が自治体の権利を制限することは、戦前の人権を無視した社会を再び生み出すことになる。改正法は、自治の制限の範囲があいまいで、際限なく制限が緩和される危険がある。岸田首相は、4月にアメリカで自衛隊をアメリカの指揮下に置くと、国会で論議も経ずに決めてきた。今、世界各地で国家権力が人権を無視した武力行使を行っている状況を考え、地方自治をないがしろにする改正法に反対し、陳情に賛成する。

他1名が賛成討論を行った。

その他、陳情第5号についての賛成討論もされた。



主な議案の説明と 審査結果

6月定例会
提出案件

○…賛成 ●…反対

区分	件名	審査結果	矢口結以	三枝三七子	安部誠	山崎正治	大厩美秋	中山眞	大出美晴	和澤忠志	薄井孝彦	服部久子	横澤はま
承認	税条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和5年度一般会計補正予算(第13号)について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和5年度国民健康保険特別会計補正予算(第3号)について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和5年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案	特別職の職員等の給与に関する条例及び執行機関の附属機関設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	子ども・子育て会議条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和6年度一般会計補正予算(第1号)について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和6年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について	可決	○	●	●	○	○	○	○	○	●	●	○
	令和6年度水道事業会計補正予算(第1号)について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願・陳情書	「刑事訴訟法(再審法)の改正を国に求める意見書」の提出を求める陳情	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	地方自治体を「国の下部組織へ変容させる」ことにつながる「地方自治法の一部を改正する法律案」の廃案を求める意見書の提出を求める陳情書	採択	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○
	「地方自治法の一部を改正する法律案」の廃案を求める請願書	採択	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○
発議	国の予算措置で小中学校の給食費無償化実現を求める意見書について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	刑事訴訟法(再審法)の改正を国に求める意見書について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	「地方自治法の一部を改正する法律案」の廃案を求める意見書について	可決	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○

※横澤議長は表決には加わりません。

9 議員が 町政を 問う

質問者	主な質問事項
中山 眞 議員	今 池田町が変わるとき どこを目指しているのか
大厩 美秋 議員	ブロック塀などの安全対策・有害鳥獣対策の今後は
大出 美晴 議員	町長の方針と取り組みは
服部 久子 議員	市町村による自衛隊への名簿提供について
薄井 孝彦 議員	災害関連死の審査ができる取り組みを
安部 誠 議員	保育園統合における会染地区への民間保育園の誘致に関して
三枝三七子 議員	新町長の目指す町の在り方は
山崎 正治 議員	財政健全化完成年度へ向けた取り組みは
矢口 結以 議員	会染保育園の現状と課題について問う



なかやまきよと
中山眞 議員

新体制の取り組み姿勢と目標数字は

4年後の町の想定人口、人口減少対策は

問 国立社会保障人口問題研究所(社人研)などで、池田町は将来人口減少が著しく、消滅可能性が5段階中第4段階で将来人口減少率50%以上と予測している。また令和7年には高齢化率40%、生産年齢人口が50%を下回るという予測数字も出ている。池田町人口ビジョンでは令和22年目標8200人、社人研では7000人と予測。この差をどう埋めていくのか。4年後の町の予測人口数、高齢化率、出生数の目標数字は。

答 社人研の6年後予測人口は8100人。高齢化率は既に41%を超えていることから、実際はもっと高くなると想定。出生数は33.8人と見込んでいる。目標人口を6年後に8300人、高齢化率40%前半、出生数40人以上を目指して人口減少問題を最重要課題とし、移住定住促進策を柱とした取り組み強化を図る。

問 移住定住補助金や空き家対策補助金など今後の施策は。

答 令和5年度空き家バンク成約率は1300件中103件、成約率79%。

また、町内民間事業者による土地造成を6事業者30区画予定している。住宅の耐震改修工事の補助を50万円上乘せし限度額を100万円で補正を上程している。引き続き具体的施策に取り組んでいく。

労働人口、財政状況、魅力ある町づくりは

問 農業従事者や町特産品に従事する方たちの高齢化、後継者問題はここ数年が山場と見ている。労働人口が50%を切る予測の中、どう判断しているのか。

答 令和7年以降生産年齢人口が50%という数字が予測されている。農業の人手不足が顕著になる。生産物の減少や田畑の保全など様々な課題がある。農業法人化やスマート農法など推進していきたい。

問 この4年間で想定している大型事業や個別施設計画実施は。

答 会染小学校はまだ大規模改修を行っていないため、令和7年から11年にかけて行う予定。その他クラフトパークトイレ改修、美術館、創造館のLED化や空調更新、福祉センターボイラー改修等が挙げられている。

問 社会保障費(社会保険 社会福祉、扶助費、保健医療など)が年々膨らむ中、経常収支比率等への影響も出る。町づくりのための投資とどうバランスをとっていくのか。

答 社会保障費と町づくりの投資のバランスは、町の持続可能な発展に不可欠。そのため総合的な視点と投資効果を客観的に評価し、町民が直面する課題や要望に適切に配分していく。

歳入を増やす施策は

問 健全財政を目指す中で歳出を抑える政策が必要だが、今後社会保障費などは年々増加していくと予想される、あとは歳入を増やす施策が必要となる。即効性、実効性のある施策としてふるさと納税寄付金があるが、町長の考えは。

答 ふるさと納税と、寄付金の使い道をより具体化しプロジェクト化して、共感する寄付者を増やすガバメントクラウドファンディングの手法もある。活用すれば、提案のようにきめ細かな対応も可能と考える。

問 なぜ寄付をしようとするのかを細かく検証することが必要。返礼品の魅力、税金控除、地域自治体への貢献、被災地やふるさとの支援等様々あるが、最近では自分が応援したい自治体の返礼品を選ぶ傾向にある。目標額を設定し多様な人材で取り組む必要があると思うが。

答 厳しい財政の中、数年先を見据えて安定化を図る必要がある。4年後は寄付金額2億円を目指す。

問 歳入を増やす施策は

答 歳入を増やす施策は



目指せ3億円越え





ブロック塀などの安
全対策に町が目指す
ことは
大槻美秋 議員

問 震災時に経年劣化などにより安全基準を満たさないブロック塀の倒壊を無くすため、簡易点検として「金属探査機」の無料貸出しを令和元年から行っているが、実績は。

答 令和元年度が23件、2年度6件、3年度2件、4年度1件、5年度2件となっている。

問 年々、貸出しが減少している。高齢世帯も多くなり、貸出し時には必要に応じて使い方の説明をお願いしたいが。

答 安心して操作使用できるように必要に応じて直接説明を行う。

問 「池田町ブロック塀等除却費補助制度」が令和元年から施行され、16件の実績があるが年々減少している。まだ対象となるブロック塀はあると考える。再度周知を。

答 補助制度と金属探査機の無料貸出しを合わせて、また、木造住宅の耐震化促進を広報とホームページで掲載する。広報は、7月号の掲載を予定している。

問 安全基準を満たさないブロック塀は今後増えることはない。除却を促進

答 するためにも補助額の上乗せを提案する。申請の状況を見ながら検討していく。

有害鳥獣対策の現状と今後は

問 GPS首輪をサルに装着して行動調査、移動監視を行っているが、実績と今後の取組みを聞く。

答 このデータを基にサル捕獲檻の設置場所選定と誘引を行い、今年3月以降に群れの規模縮小ができた。今後は中継用アンテナを増設して群れの行動監視強化を行い、追い払いや捕獲数の増加に努める。

問 効率的な有害鳥獣対策を推進するために、地域おこし協力隊を採用された。人材育成をどう進めていくのか。

答 専任1名と、農業・鳥獣害兼任1名が従事している。公費により罾や猟銃の狩猟免許取得、猟銃所持許可証取得を進めており、今後も捕獲や追い払いに対応できるよう研修参加や体制づくりの推進に努めていく。2名の協力隊員は意欲的に取り組まれている。

町長が目指すこれからの池田町は

問 土地利用調整基本計画を基に新町長のビジョンを問う。

答 土地利用計画は策定から約12年が経過した。時代の変化とともに計画に沿わないケースも出てきている。今後、移

住定住に大きな影響を与える可能性もある。また、この素晴らしい景観を守りながら企業誘致も含め土地利用計画全般について、スピーディーに方向性を見定めていきたい。

問 「個別施設計画」で計画期間内の事業に遅れが生じている。見直しが必要と考えるが、町長の考えを聞く。

答 進捗状況はそれぞれの施設により違いがある。実施できたものもあるが、諸事情により遅れている施設もある。最近の物価上昇、人件費高騰などの影響を考えると、時間軸なども踏まえながら財政的な視点も入れて、個々の施設について計画の見直しを検討していく。



建設水道課で無料貸出しをしている「金属探査機」使い方の説明もします!





おおいでよはる
大出美晴 議員

町長が考える希望が
持てる農業政策は

問 これからの農業は集積化と高収益性が問われるはず。特産品づくりと、多種多様な園芸作物も当町の環境にあった形で試行錯誤する必要があると考える。町長の希望が持てる農業政策は。

答 集積化を進めること、高収益農業のため多様な園芸作物も必要である。本年から大北農協と契約し、農産物などの出口戦略を担える職員の派遣を受けている。この職員を中心に特産品と呼べる農産物が生まれればうれしい。希望の持てる農業にするための明確な答えはないが、少しずつ希望の持てる政策を打ち出したい。

問 担い手を確保するための施策として、農業の革新と変革が必要ではないか。

答 革新と変革は重要である。効率の良い農業が営めるよう町としても考えていく。また、JAや県など連携し、次世代の担い手となる新規就農者の確保も引き続き力を入れていく。

問 当町には日本酒の酒蔵とワイナリーがある。酒米・ワイン用ブドウの生

産を拡大していくことは大事なことを考えるが、町長の考えは。

答 地産地消の究極の形ともいえる酒米・ワイン用ぶどうの生産拡大は必要と認識している。酒造メーカーやワイナリーとしっかり協議をした上での生産が絶対条件である。よって担当課において現実的に今後生産拡大が可能か確認していきたい。

商工観光関係について

問 町なかの賑わいは昔のようにはない気がする。しかし古きを知り新しいことに挑戦することで何かが生まれるはず。町長の考えは。

答 町なか駐車場は整備したが、人が行き交う昔のような状況には戻っていない。一つの課題として歩く方の「動線の確保・誘導」が重要と感じる。歩くことに意味がある町づくりが大事。目的地までの間にちよつとした空間や店舗、目に留まるフラッグなど、お金をかけず少しの工夫でできる方法もあるかもしれない。観光協会やシェアベースにぎわいをポイントと捉え、もう一度「歩いてみたくなる町なか」を目指す。

問 当町の観光は春と秋が中心。単発的な効果しか今は出ていない。3シーズンだけでも誘客できる観光資源の発掘と政策はないか。町長の夢ある考えは。

答 極寒の冬の朝に北アルプスがピンクに染まるモルゲンロートを観光の目玉にしたい。他の季節も観光資源があるはず。幅広く発掘し政策につなげたい。

自治会要請について

問 自治会要望は町民の切実な要求。しっかりと向き合い予算付けがなされるべきと考えるが。

答 通常の予算組みでは全ての解決には至らない。優先順位をつけ順次対応していきたい。

池田工業高校の在り方について

問 高校再編の動きの中で校地が決まっていけない。このままの状態では町から高校がなくなる。町長はどういう方向にもっていききたいのか。

答 町営バスの高校生以下無料化の効果は上がっている。懇話会や様々な場面を利用して池田町に高校が残るよう努力する。



構造改善を期待する林中地区のほ場





市町村による自衛隊へ
の名簿提供

はつひろむ
服部久子 議員

問 2022年度、全国の6割を超える1068市区町村が自衛隊に18歳と22歳の氏名・生年月日・住所・性別の個人情報を提供している。町はどうか。

答 町は、昨年度から18歳の個人情報により提供している。

問 国は名簿提供の根拠として、自衛隊法第97条1項と自衛隊法施行令第120条を挙げているが、両法も個人情報保護の観点はなく、自衛官の募集事務がスムーズに遂行されるための規定に過ぎず、名簿提供の根拠にならない。町の考えは。

答 住民基本台帳を所管する総務省と防衛省で自衛隊法に基づき情報提供を行った場合、住民基本台帳との関係において問題になることはないと確認されている。違法と考えていない。

問 自衛隊に個人情報を提供していることは住民に周知されているのか。

答 広報で自衛官募集を法定受託事務の中で行っているが、住民が把握しているかについては、情報不足になるのではないかと思つ。奈良と神戸の市民は、自衛隊に個人情報を提供することは憲法と個人情報保

護法に違反するとして、国を提訴している。

自衛隊入隊適齢期の個人情報を自衛隊に提供することは、憲法第13条に抵触すると思われる。4割の自治体が情報提供を行っていないことを踏まえ考え直すことを求めるが。

答 町長になって間もないので、今後どのような対応が適切か確認したい。

問 ような対応が適切か確認したい。提供を望まない人に除外申請制度を実施するか。

答 除外の法令がなく除外は考えていない。

子ども誰でも通園制度を問う

問 国は、2026年度から親の就労にかかわらず、生後6か月から2歳児までを月一定時間預かる「子ども誰でも通園制度」を実施するとしている。町は、保育スペースや保育士の確保はできるのか。

答 保育スペースは問題ないが保育士については早めに面談をし、確保に努める。国の要綱は、子ども1人につき1時間8500円の補助金と3000円の利用者負担で必要な経費に充てるとしているが、これで実施できるのか。到底実施できない。

問 園児に支障が出ないようしなければならず、保育現場の負担が増えるのではないか。十分な保育士の確保ができるのか。

答 保育士の確保やアレルギーなどしっかりと対応していく。

問 現在、保育士の7割が会計年度任用職員である。保育士の確保のためフルタイムの保育士を正規職員にすべきと考えるが。

答 正規職員にすることは困難。保育士確保と環境向上については今後模索していく。

子どもの医療費の完全無料化を

問 県は、子どもの医療費補助を小学3年生までから中学3年生までに拡大した。県の補助額は約860万円となり、300万円増えた。前回の一般質問で、増額分で自己負担金500円を無償にするよう求めたが町は対象外と回答した。県は、子どもの医療費軽減に使用するなら自治体の判断で良い、と回答している。

松本市は来年1月から子どもの医療費を完全無償化する。物価高の中子育て世代の支援になる子どもの医療費の完全無料化を求めるが。

答 県補助金の増額分は18歳までの医療費無料化の町単独事業に充てたい。

3歳未満児保育料の軽減を求める質問を予定したが、町は9月から軽減を実施すると公表したため質問は取り下げた。





町農業の振興策は

薄井孝彦 議員

「5年水張りルール」の影響と対策は

国は水田転作で転作作物を栽培している農地を令和4年度から8年度までに2度も水張りをしない場合には「直接支払い交付金」を支給しないとした「5年水張りルール」。「5年水張りルール」の町農業への影響と対策は。

生産者の意向を把握してないので影響は不明である。個々の生産者と協議・相談し、不利にならないように対処する。

「直接支払い交付金」の対象外になっても、畑作を続けなければ畑地化促進事業の活用もある事を農業者に知らせて欲しいが。

機会をみて知らせていく。

畑地化促進事業も5年間でなくなる。その後は麦・大豆栽培などへの支援金は全てなくなるので遊休農地は大幅に増える。町長は支援金を残すよう国に求めて欲しい。

国に求めていく。

農家・町民の声を聴き、町農業振興策の策定を

「5年水張りルール」、10年後の地域の農業の姿を明らかにする「地域計画」の策定、農業新法人「信州池田アグリ」(以後、アグリ)の設立で、農家・町民の声を聴き、町農業振興策の策定を。

「地域計画」の策定で地域を回り農家の意見を聴く。「地域計画」が出来しだい議会・町民の皆さんと「町農業の振興策」を話し合い、策定していきたい。

米・ガーデンハックルベリーなど町に合った作物の販売戦略を考えた農業振興策の検討を。また、アグリが遊休農地対策を担うよう指導を。

輸出も含め販売対策は検討する。遊休農地対策についてもアグリと話し合う。

町のホームページで遊休農地の紹介と耕作者の募集を

遊休農地対策として、町のホームページで遊休農地周辺の風景を含む写真付きで紹介し、耕作者の募集を。

町のホームページなどの更新に合わせて実施していく。

農業で暮らせる土台を整えるよう国に要望を

ヨーロッパで実施されている「農産物の販売価格と生産コストの差額を補填

する」施策を国が行うなど、農業で暮らせる土台を国が整えないと、町農業の振興も農業担い手確保も難しい。そのことを町は国に要望してほしいが。

内容を精査し、県要望などを通じ提出していきたい。

社口原は環境保全型農業の試験地に

国内でシャインマスカットの栽培を無農薬の有機栽培で行っている農場がいくつもある。社口原でも無農薬の有機栽培でブドウ栽培を行い、社口原を環境保全型農業(土壌の物質循環機能を活かし、化学肥料・農薬からの環境負荷を軽減した持続的農業)の試験地として全国から注目される地を目指してほしい。町の考えを問う。

社口原の利用権はアグリに移行する。議員の意見はアグリに伝える。

「災害関連死」を審査できる取り組みを

災害で死亡や負傷した場合、町の条例により申請認定されれば、災害弔意金が一入12.5万円から50万円支給される。災害後の死亡についても町に申請し「災害関連死」と認定されれば弔意金が支給される。町は「災害関連死」を審査できる体制にあるのか。

災害弔意金支給審査委員会の設置要綱を定め、審査できるようにする。





安部誠 議員
あんぶまさと

民間保育園誘致と街中の居住環境整備を問う

問 町長選挙で言及していた。会染地区への民間保育園の誘致に関して、その方針を問う。

答 6月中をめどに「会染保育園活用チーム（仮称）」を学校保育課を中心に各課横断的な組織で立ち上げる。計画や規模などの策定、視察などを行い、募集要項などの検討に入る。実際に公募方法等の検討を行う中で、募集や選定に入っていくことになると思う。

問 現在、未修繕の会染保育園の雨漏り対策を早急に実施してほしいが。

答 現状何年も屋根塗装をしていないため、屋根の塗装状況は良い状態ではない。そのため雨漏りの解消に繋がるかわからないが、今後の施設利用を見込んで屋根の部分塗装を検討していく。部分塗装の費用と時期を問う。

答 今検討しているところで梅雨明けを待ってからのになる。エリアが決まってくると大体の規模は議員の皆様にもお示しできる。

問 保護者会や職員への告知を速やかにやってほしい。

答 今までもそういうつもりでやってきた。連絡できることについては速やかに進めていきたい。今後の施設利用の考えを聞く。

問 保育園と災害時緊急避難場所の二つの機能があるので、その条件をクリアするような施設にしていかなければならない。

答 民間保育園誘致が保育園統合までに間に合う状況ではない。予定通り実施するのか、延期の可能性があるのか。

答 現在のところ予定通り来年4月の統合に向けて準備を進めている。新しい民間保育園が選定され次第速やかに開園準備を進め、一園だけの期間を短縮するよう精いっぱい努力する。

問 空き家対策について、関係組織が連携し、危険家屋対策に取り組んでいるのか？五丁目の危険家屋に関しては、既に担当部署もその存在を確認している。説明を求めます。

答 今後、町としても所有者等と粘り強い交渉を続けるとともに、対策計画や法に則った指導勧告など、今まで以上に関係組織と連携を図りながら、適時適正の判断を行っていききたい。

と思う。五丁目の空き家以外にも諸問題が顕在している。これを機に、法的な整合性を確認するため弁護士への相談を考えている。

問 この物件に関しては所有者の確認は取れているのか。

答 所有者の確認は取れていない。専門家の方に相談していきたい。

問 池田町の中心市街地には、街区公園に相当する公園がない。緑陰と交流の場のポケットパークを設置する必要がある。町長の考えを問う。

答 かえで公園に子どもからお年寄りまで利用できるユニバーサル遊具を含めた大型遊具の設置と、あずまやの整備を予定している。既存の公園の充実に重点を置いていきたい。





みえだ みなこ
三枝三七子 議員

新町長に今後の方向性を問う

問

矢口新町長に公約の進め方と当町の課題を問う。

答

①子供から高齢者まで、将来に安心感が持てる町。②活力ある農業と産業強化で地域経済を元気に③池田のファンを増やす魅力ある町づくり。それぞれ優先順位をつけながらやっていく。重要なのは安全安心の確保。災害が頻発する今、池田町だからできる防災対策を行う。可及的速やかに行うものとして、人口減少対策。町民ミーティングを8回行う予定を組んでいる。SNSなどを利用した町民への情報提供とDX化。公式LINEなどを導入する。

進まない公共交通対策を問う

問

国の共創モデル実証プロジェクトなどになぜ応募できないのか。

答

地域の多様な関係者との協議が整っていないため時期尚早である。また地域公共交通計画が未策定である当町においては、共同計画との整合性も求められる点から事業申請に至っていない。今年度、県の「多角連携型モビリティ・アドバイザー派遣事業」へ申請を行った。昨年のアンケート結果の分析やニーズ把握、当町の進むべき方向性に助言を得るようになる。

問

この町の人の動きなど住民の方々がどのような交通を求めているのか課題を把握せずアドバイザーを入れることについてどのように考えているか。

答

町民のアンケート結果等については、昨年10月に65歳以上1000人へアンケートを行い、町営バス、特に巡回線の課題が見えた。それを含めアドバイザーに見ていただきたいと考えている。

問

福祉輸送と公共交通について、現在当町で「おでかけ乗りましょカー」という介護保険の範囲で高齢者の輸送サービスを行っている。これだけのサービスを年間29万円ですまわしており、池田町社協は最大の努力をされている。福祉輸送を把握しているのか。

答

「おでかけ乗りましょカー」は介護保険事業の一つとして、社協が事業者として実施。また福祉輸送サービスは町が社協に委託し、高齢者と障がい者の二つの区分により実施。福祉輸送サービスの利用者数の実績は、例年約30人の登録者があり月に1〜2回の利用という状況である。

池田町の防災の進捗状況を質す

問

この町の住宅立地のほとんどが災害警戒区域である。3月の定例会でも質問した、広津・陸郷に対して衛星受信システム設置の進捗状況は。

答

検討中である。現在の対応として車載型の消防無線機を自主防災会が使用できるように、8月までにマニュアルを作成したい。

問

「住宅耐震化緊急促進アクションプログラム」について現在の状況は。3月末に策定済みとなっている。

問

災害時に助け合える環境作りが、地域の防災だと考える。しかし、自治会をやめた、自主防災会だけ入れれば良いという考えを持つ方が出てきているというのを聞いた。今年は自治会マニュアルも町は策定しているがさらなる対策は。

答

各自自治会でも現在、そして未来の形にあつた運営形態を考えていく必要もあると思っている。

松川村リムリン号

65歳以上登録すればだれでも。

	毎月利用人数	年間利用人数	総予算	利用者数 1人当たりの予算	利用台数
松川村福祉バス	529名	6371名	7,406,000円	1,162円	2台
町内巡回バス	672名	9225名	12,914,220円	1,399円	2台

町民1人当たりの負担金額

松川村福祉バス 740万6千円/6371人=1,162円

池田町内巡回バス 1291万4220円/9,225人=1,399円

※ 池田町の2種のバスは、現在の町営バスと世代別です。また、池田町の利用者8割は池田町民であることが確認されている。詳しくは町民利用費として1000人前後であると仮定される。
※ 池田町民利用費のデータは今年5月松川村福祉協議会より提供された。

令和4年 長野県の人口 市町村別・年齢区分別人口 令和4年10月1日現在

<p>①訪問型サービスB型事業(200回分)</p> <p>サポーター謝金補助 80,000円 移動ボランティア保険 50,000円 車両使用料 70,000円</p> <p>②訪問型サービスD型事業(100回分)</p> <p>サポーター謝金補助 40,000円 移動ボランティア保険 30,000円 車両使用料 20,000円</p>	<p>29万円の内訳(補足)</p>
---	--------------------





山崎正治 議員

財政健全化完成年度へ向けた取り組み

問 「財政危機緊急対応期間」である令和8年までの残り3年間の財政健全化に向けた町長の決意は。

答 町行財政改革推進委員会からの答申を尊重し、令和8年度までは財政危機緊急対応期間として、できる限り歳出を抑え実施計画に沿った財政運営を心がける。

問 令和8年度まで、行財政改革推進委員会の年2回以上開催と委員の増員を希望するが。

答 本年度は、委員会を2回開催し、令和7年度以降は、公募委員も含め新たに委員を委嘱する。

問 町長の考える財政健全化とは。その具体像は。経常収支比率の具体的パーセントは。

答 第6次総合計画の基本目標6の3で町債発行抑制や町債残高縮小、基金残高確保などに取り組む。経常収支比率の具体的パーセントは、「全国類似団体内平均値以下」と定めている。

問 答申を基に今後10年間の行財政改革プランの作成を要望するが。

答 ロードマップを行財政改革プランと考えられているので、新たに作成する予定はない。

問 町長の基金に対する考え方と目的基金の積み上げを要望するが。

答 今後の公共施設の修繕や災害などに備える為に積み増しを進めていく。目的基金については、今後目的別に細分化するか調査研究をすすめる。

問 池田保育園1園に向けた準備の進捗状況は

答 統合に向けた保育士の配置と受け入れ教室にキャパの問題はないが。

問 保育士は、秋ごろ希望調査を行い、不足するようなら募集し万全を期す。キャパの問題はない。

問 送迎時間帯の混雑回避と保育園統合に向けた課題を問う。

答 混雑回避は、北から入り西から出る一方通行を徹底し、園児の乗降時の見守りなど職員を配置する。課題は遊具の設置、施設内の修繕、備品の購入や職員確保である。

問 統合後の会染保育園の利活用は。

答 会染保育園に民間の保育園を誘致したい。また、保育本来の機能を失っても、非常時に避難所として活かしておく。

タウンミーティングの開催で

住民要望の実現を

問 この夏にかけて「町民ミーティング」を企画する。今回は「人口減少対策」に特化して12月を目的に、中長期的な町政方針を

答 定めたい。

問 池田町ユース(青年)未来会議を提案する。(20代〜40代に焦点)

答 「池田町ユース未来会議」の開催の有無について研究する。

芸術・文化の振興で町の活性化を

問 北安曇郡歌を義務教育の中で合唱し、郷土愛を育み、全人格形成に寄与してはどうか。

答 学校に北安曇郡歌を紹介し、教材としての価値があるか、先生に考えてもらうことはできる。

問 美術館前の郡歌歌碑にオルゴールの設置を要望するが。

答 町内の各種イベント等で北安曇郡歌を歌う機会をつくったり、生涯学習の一つの素材として取り上げるなどソフト的な広がりを作っていければと思う。

安曇野アートラインとの連携強化で、

美術館の活性化を

問 「安曇野アートラインを巡りAR(拡張現実)を体験しよう」の企画を認知しているか。

答 先日開催された協議会の幹事会並びに総会で今年度の取り組みとして承認し認識している。





「子どもがまんなか池田町」を問う
矢口結以 議員

保育園統合による今後の見通しは

問 通園バス送迎の調査の具体的な時期と計画は。

答 7月ごろに希望調査を行い、その結果次第で時間や順路等を策定していく計画である。

問 子どもや孫の送迎について不安の声がある。送迎可能時間の延長をすべきと考えるか。

答 会染中鶴地区で勤務時間の関係で間に合わないご家庭に限り、朝夕15分ずつ延す方向で考えている。朝は8時から、夕方は16時30分までとなる。

問 すでに会染・中鶴地区から池田保育園に通う子どもたちもいる。裏道使用について、道路の対策をすべきではないか。

答 保育園の西側の突き当たりへのカーブミラー設置等を行っているが、今後についてはまだ予定はない。

問 会染保育園の建物診断で安全が証明され、保護者には文書が配布された。一方で昨年の説明会で危ないというイメージが町民の中にある。どう払拭していくのか。

答 保護者には通知したが町民には当時考えていかなかった。そのような心配があれば検討する。

問 保育園が池田町に1園しかなくなることにについて町長の考えは。

答 子育て世代の目線に立てば、地理的条件を加味して、南部地区に保育園は必要。また若者世代の移住を促進するためにも、保育園の必要性を強く認識している。

第2次教育大綱とまちづくりを問う

問 第2次教育大綱第1期を終え、どのような成果があったのか。

答 保小中15年プランに基づき、保育士・教師の研修、園長や校長のビジョン共有、合同研修会を重ね確実な変化が表れてきた。子どもの主体性を中心とする保育や授業作りは大きな成果である。結果として子どもの様子が変わり自ら考え判断し、共に解決する力が付いた。

問 池田町子ども基本条例制定の考えは。

答 現時点で新たな条例を制定する考えはない。教育大綱を大切にしながら様々な取り組みを進めていくつもりである。

問 育児相談、虐待、いじめ等の相談件数が減らない現状をどう考えるか。

答 多世代相談センターという名称を変え、子どもたちに特化した相談センターのような形で事業推進できればと計画

している。

問 地域の公園の重要性について町の認識は。

答 草刈りなど高齢社会の中で大変という声もある。子どもたちの遊び場として充実が図られていない現状である。

問 以前よりPTA等からかえで広場に遊具設置の要望があるが計画は。

答 財政面も考慮した上で議会の理解も得ながら来年度竣工を目標に準備に入る。

公園についてのアンケート（複数回答があったものを抜粋）

クラフトパークは大好きだけれど、子ども1人では行かないし、車必須なのが少し億劫。多世代の憩いの場となる公園がほしい。

学校後に子供達だけで宿題とおやつを持って気軽に集まれる場所がありました。そんな気軽に子供達が集まれる公園が近くに欲しいです。

キャンプがしたい！
夏遊び・水遊びができる公園を！

池田町内に子供達が集える公園が少なすぎる。子どもたちのことを考えて。

近くあって、すぐ行けて、井戸があって、災害時でも避難も、火がたける公園がいい(防災ベンチ?)

クラフトパークのような、大人が車を使わないと行けないような場所も観光地施設として大切だと思いますが、一方で子どもが自宅から自力で通える普段使いの(子どもが通って設備を備えられるような)公園も必要だと感じています。以前老朽化で遊具が撤去されたことがありましたが、そのままになっている点は寂しいですね。

農村広場の砂場は一応あることにはなっていると思いますが土が固すぎて遊べない。砂場遊びができないので整備してほしい。

ドッグランなどのあるドッグフレンドリーな公園がひとつでもあると嬉しみができてよいと思います。



今年3月就任の矢口稔町長並びに7月就任の 宮澤達副町長にインタビュー。どんな人？

矢口町長にお聞きします



矢口町長

これまでの経歴等を教えてください。

町長 幼少期、中学校時代、泥いじりが大好きな幼少期、そのまま小学校へ行くと「落ち着きがない」と通知表によく書かれました。

20代以降 家業の電気屋を継ぎ、長野県青年連帯の船への参加から国際交流事業に目覚め、青年海外協力隊ではソロモン諸島で映像技術を教えてきました。40歳のときに東日本大震災が起こり、自分が今できることは何か考え、町議会議員にチャレンジしました。

40代半ば 自らを振り返ることと最新学習歴を更新するため、大学で環境、福祉、情報について学び直し今に至ります。

質問 立候補決意時と今の心境で変わったことはありませんか。

町長 私に本当に務まるのか、周りの理解と協力が得られるのか不安でいっぱいでした。しかし一度

だけの人生、今しかないと一念発起しました。池田町は住む人の優しさや自然環境の良さなど、思った以上に町が持つ存在価値（ポテンシャル）が高いことを再認識しています。

質問 幼少期からの池田町の印象と現在の印象が変わったことは。

町長 明らかなのは、冬場は凍みなくなっただけで校庭のスケートリンクが懐かしい。

・町内色々な場所にカフェが増えてきて、隠れ家的な場所もあり、カフェ巡りも楽しそうです。

質問 ご自身の性格は。どのように感じていますか。

町長 血液型はB型ですが、占いによるとマイペースでこだわりが強い。気持ちの切り替えが早い。好奇心が旺盛で多趣味などなっています。概ね合っているような違いはいるような…。自分のことが好きなのは確かかもしれません。

質問 町民の皆さんへのメッセージをお願いします。

町長 常に計画に沿って優先順位と費用対効果を見極めて事業を推進します。また、新しい考え方もなるべく取り入れて町民の皆さんが「住んで良かった、住み続けた

い！」と言っていただけできるようになります。「イケダマチ」を目指してまいります。今後は「町長室」を開放し、誰でも気軽に立ち寄れる機会を創ってまいります。

質問 議会への要望や期待するところは。

町長 二元代表制としての役割をしっかりと果たせるよう、より深い議論や政策提言を通じて池田町の確かな未来を共に創っていきましょう。

宮澤副町長にお尋ねします



宮澤副町長

質問 町長から打診を受けた時の感想をお聞かせください。

副町長 副町長が不在以降、町議会からの要望事項や行財政改革推進委員会の答申に向き合ってきました。打診いただいたことは大変光栄に感じています。課題は山積しているし、今より責任は重くなるなど思いました。

質問 町長との連携をどのようにとっていききたいですか。

副町長 町長とは町議会議員になる前から面識があり、互いに遠慮なく話ができると思います。町長室、電話、メール等で密な報告・連絡・相談を行いたいと思います。

質問 池田町をどのように感じていますか。

副町長 池田町は北アルプスの展望が素晴らしく、静かで暮らしやすい、過ごしやすい（よく眠れます）町だと感じています。春の山桜、夏の田園風景、秋の紅葉、冬の澄んだ空気が雪など四季を感じることができ、駅や国道はありませんが、自動車や町営バス等を利用すれば、病院、大手スーパー、ドラッグストア、コンビニエンスストアなどが充実していて利便性が良い住みやすい町だと感じています。

お二人ともお忙しい中ありがとうございました。

インタビューを終えての感想は裏表紙に掲載しております。

インタビュー編集委員長 中山 ※話し言葉を書き言葉に直してあります

例大祭舞台と船の歴史

明治41年11月13日神社合併に伴い、二丁目町宮住宅地籍より現在の八幡神社に。創立は室町時代文明期と言われる(約500年前)。この地方の豪族、仁科氏の命を受け、十郎藤重、功によ

十二社について



小林三郎さんによる舞台説明



り池田の姓を賜る。田中元町を本拠地にして開拓、農耕の守り神として勧請する。

舞台の登場

江戸中期頃と思われる。明確に名称が出てくるのは、「明和6年(1769年)十二社社につき、氏子85人のうち15人方にて羽織袴にて警護する」と話されている。

室町時代の祭礼ではのぼりを出す程度であり、舞台の発生と名称については、約350年あまり前にさかのぼり、明確に舞台の名称が出てくるのは、元禄5年(1692年)。形式、構造などは不明であるが、奉芸を神社で行い、後に町に繰り出す形式である。舞台も塗りや簾、金具、彫刻などを施し豪華になつていく。

池田囃子について

現在の舞台は、各町内によって違いがあるが、2代目か3代目である。

お囃子には能・獅子などがある。本殿前で奉納する五穀豊穡・無病息災などをお願いする奉納囃子(地域によっては旧十二神社でも奉納している)。

大雪・大雨・川の氾濫など道中の安全を祈り、道路に感謝



を込めて曳行する道中囃子は7〜8曲くらい。(各町内によって曲が違う)

船の構造、様式について

四輪型、御所車、前楯取り式、上層四方に檣を組み立て、はめきを前後2本ずつ斜めに張り幕を垂らす。

上層四方に幕を張り左右に幕を張る。下層間で太鼓、上層四方の檣にまたがってお囃子をする。池田型船とも言つ。

二丁目 小林 三郎氏 手記より

7月3日 池田松川連絡協議会の行事として、八幡神社境内、舞台などを見学した。池田町松川村両議会議員、町村長、副町村長、教育長、事務局が参加した。案内 小林三郎さん。

表紙説明

日本では、本州、四国、九州に分布し、日当たりのよい乾き気味の河川敷などの砂礫地に生育しますが、近年河川整備による影響もあり、現在36都道府県で絶滅または絶滅危惧(レッドリスト指定)の状況です。ロゼット状に葉を展開し、開花個体の茎は葉柄とともに有毛で、高瀬川に自生するものは高さ50cmほどです。ヘビイチゴに似た黄色い花で、花期は6月〜8月。秋には葉の紅葉も見られます。町民の皆さまにも大切に見守っていただきたいと思います。

編集後記

町長、副町長のインタビューを終えて人となりを尋ねる今回の企画。実直で少し身構える町長、副町長。お二人とも幼少期から現在に至るまでこの地に根付き支えて来られました。その素の横顔が垣間見えた気がします。

政策や事業計画など首長の考察する施策は、一般質問や全員協議会、定例会等で検証していきたいと思います。

「住んで良かった、住み続けたい!」
「池田町の未来はみんなであつてくれるもの」
町の行く末を委ねるトップお二人の今後に期待すると共に、町民の皆さんのご意見、ご要望がしっかりと届くよう議員活動にまい進していきます。

中山 眞

議会報編集特別委員会

委員長 中山 眞
副委員長 大厩 美秋
委員 矢口 結以
山崎 正治
大出 美晴
横澤 はま

次回議会日より発行は令和6年10月23日(水)を予定しています。ぜひ、御覧ください。